

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年12月10日(2020.12.10)

【公開番号】特開2019-146873(P2019-146873A)

【公開日】令和1年9月5日(2019.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2019-036

【出願番号】特願2018-34316(P2018-34316)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月21日(2020.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技中に抽選契機が発生すると、所定の抽選を実行する抽選実行手段と、

前記所定の抽選が実行されると、所定の変動時間にわたって図柄を変動表示させた後に前記所定の抽選の結果に応じた態様で前記図柄を停止表示させる図柄表示手段と、

複数の場面のうちいずれか1つの場面を用いた第1演出を実行する第1演出実行手段と、

1回の前記図柄の変動中に、演出図柄を1回又は複数回にわたって擬似的に変動させる第2演出を実行する第2演出実行手段と、

前記第1演出の場面に関する場面情報を記憶している場面情報記憶手段と、

前記第2演出と並行して、前記場面情報に基づいて演出を実行する演出実行手段とを備える遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

所定の移行条件が満たされた場合、前記場面を移行させる第3演出を実行する第3演出実行手段と、

前記場面情報を更新する際に、移行前の場面に対応する前記場面情報と移行後の場面に対応する前記場面情報を確認し、移行前の場面から移行後の場面に移行する際に当選の期待度が低下する場合には、前記場面情報を更新しない場面情報確認手段とを備えることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の遊技機において、

前記場面情報記憶手段は、

前記場面情報を、前記図柄の変動が開始してから終了するまでの変動区間を複数の区間に分割した分割区間ごとに記憶していることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

上述した先行技術は、変動の途中でモードを移行させる技術であるが、このような演出の制御手法に関しては改良の余地がある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

そこで本発明は、演出の制御手法を改善することができる技術の提供を課題とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

本発明によれば、演出の制御手法を改善することができる。